

南海沖地震を想定した院内災害訓練を行いました。

昨年度より当医療機関における災害機能の強化を目指し、DMAT 経験者や災害支援ナースを中心とした災害支援チームを新たに立ち上げました。

災害支援チームは、アクションカードの作成と見直し、近隣医療機関との平時からのネットワーク作り、災害医療・看護に関する教育、訓練の実施、救命処置の院内への普及などの役割を担っています。

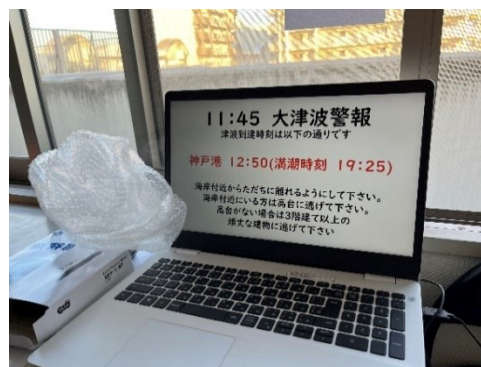
私たちが災害支援チームです。
これから各部署の加入を増やし、災害に強い病院を目指します。

災害支援チームメンバー



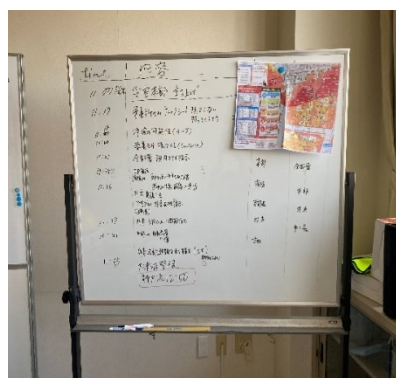
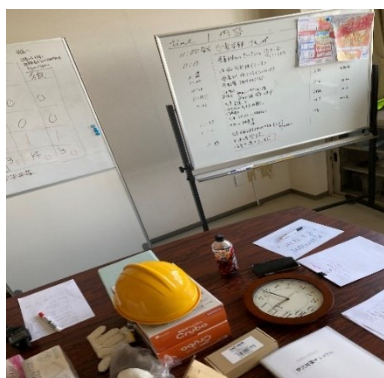
2022.12.10 南海沖を震源とする震度5の地震を想定した災害訓練を行いました。

目的は、有事に適切な避難行動がとれる。
災害に強い医療機関を目指すことです。



「訓練、訓練・・・」の院内に流れるアナウンスが入り、訓練が始まりました。

まずは、自分の安全を確保し、災害対策本部が立ち上がりました。



各部署スタッフは、地震の揺れが収まったら、ナースステーションに集合し、リーダーとなるスタッフが、指示を出します。スタッフ①には、患者さまの安全確認を、スタッフ②には建物の損壊状況の確認を指示します。



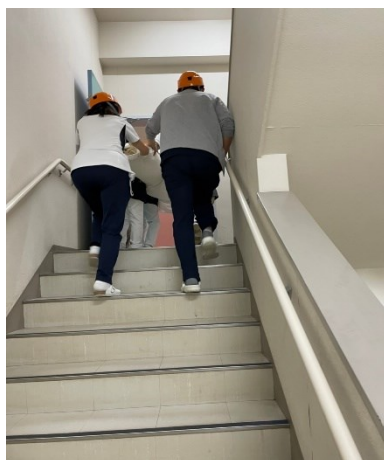
災害部長は伊藤院長、副本部長を事務長が担い、本部長を支援していきます。救護診療部門長の副院長、看護部門長の看護部長、外部調整部門の総務部長が集合し、各部門からの情報収集を行います。



現場の状況を早急に対策本部へ報告を行い、それをもとにトランシーバーを使って対策本部より各部門に指示が入ります。



「110分後に津波が到達」との予想。
本部の指示の下、安全に落ち着いて患者さまを
指定された階上に搬送します。



伊藤院長からの講評です。



伊藤院長より一言

今回初めて本格的な災害訓練を行いました。皆さんよく動け役割も明確に認識できており、日ごろの訓練の賜物と感心しました。繰り返すことが一番の備えになりますので、引き続き頑張っていきましょう。



今回、病院全体での災害訓練を初めて行いました。初めてということで、問題点と課題をたくさん見出せることができました。また、昭圭会 老健施設「さくらの園」においても、2月に訓練の予定をしています。

今後も災害対策チームを中心とし、日々の訓練に励み、万が一の事態に備えてまいりたいと思います。

